

小児総1：染色体異常・遺伝性疾患

日時：8月31日（月） 1時限

担当者：沼倉 周彦(小児科)

内容：

1. 染色体と遺伝子の関係
2. 常染色体異常（Down 症候群，18 トリソミー，13 トリソミー）
3. 性染色体異常（Turner 症候群，Klinefelter 症候群）
4. 隣接遺伝子症候群
5. インプリンティング疾患
6. 常染色体顕性遺伝，常染色体潜性遺伝
7. X連鎖性疾患

キーワード：

染色体 遺伝子

教科書：

- ◆ 小児科学（文光堂）

準備：

該当項目を予習しておくこと。（30分）

小児総2：先天代謝異常症

日時：8月31日（月） 2時限

担当者：沼倉 周彦(小児科)

内容：

1. 先天代謝異常症の基本
2. 新生児マススクリーニング
3. 先天代謝異常症各論
 - 1) アミノ酸・有機酸・脂肪酸代謝異常
 - 2) 糖代謝異常症
 - 3) ライソゾーム病・ペルオキシソーム病
 - 4) その他：金属代謝異常症など

キーワード：

新生児マススクリーニング，フェニルケトン尿症，尿素サイクル異常症，糖原病，ガラクトース血症，ライソゾーム，Fabry病，ムコ多糖症

教科書：

- ◆ 小児科学（文光堂）

準備：

上記キーワードを中心に予習しておいてください

小児総3：小児の診察

日時：8月31日（月） 3時限

担当者：山内 秀雄(小児科)

内容：

1. 全身状態の評価ができ、代表的な救急疾患を説明できる。F-3-5)-(8)
2. 基本的な小児科診察ができる。
 - 1) 頭部・顔面・頸部
 - 2) 胸部
 - 3) 腹部

4) その他

キーワード：

バイタルサイン、小児感染性疾患、出席停止期間、小児呼吸器診察、小児腸重積症、小児小児の眼底所見

教科書：

◆ 小児科学（文光堂）第10版：50－58頁

準備：

教科書で予習（30分間）し、復習は授業内容を確認し、疑問点を教科書で調べてみる。

小児総4：小児外科的疾患

日時：9月1日（火） 1時限

担当者：小高 明雄（総セ 肝胆膵外科・小児外科）

内容：

1. 代表的小児外科的疾患（キーワードに記載）について問題演習を行います。なお、コアカリの中の下記項目を含みます。
 - ・肥厚性幽門狭窄症を概説できる。D-7-4)-(2) ⑧
 - ・腸重積症を概説できる。D-7-4)-(3) ⑩
 - ・先天性胆道拡張症と膵・胆管合流異常症を概説できる。D-7-4)-(4) ④
 - ・鼠径部ヘルニアの病因、病態、診断と治療を説明できる。D-7-4)-(7) ③

キーワード：

肥厚性幽門狭窄症 (hypertrophic pyloric stenosis), 腸重積症 (intussusception), 臍ヘルニア (umbilical hernia), 鼠径ヘルニア (inguinal hernia), 停留精巣 (undescended testis), 先天性食道閉鎖症 (congenital esophageal atresia), 先天性十二指腸閉鎖症 (congenital duodenal atresia), 腸回転異常症 (malrotation), 胸腹裂孔ヘルニア (pleuroperitoneal hernia), ヒルシュスプルング病 (Hirschsprung disease), 胆道閉鎖症 (biliary atresia), 先天性胆道拡張症 (congenital biliary dilatation)

参考書：

◆ ① イヤーノート 内科・外科編, 岡庭 豊, メディックメディア. ② 標準小児外科学 (第8版) Standard textbook, 監修: 上野 滋, 医学書院.

準備：

【予習】持っている参考書でキーワード（12個）の該当ページを通読しておいてください（所要時間：30分）
【復習】授業資料の問題を解きなおして知識を確認してください（所要時間：30分）

小児総5：周産期・新生児の異常（1）

日時：9月2日（水） 1時限

担当者：國方 徹也（小児科）

内容：

新生児呼吸器疾患

1. 代表的な疾患を説明できる。
2. 鑑別診断が列挙できる

新生児の黄疸の原因・鑑別ができる

1. 生理的黄疸の原因を説明できる
2. 病的黄疸の原因を説明できる

キーワード：

呼吸窮迫症候群、胎便吸引症候群、生理的黄疸、溶血性黄疸、血液型不適合黄疸

教科書：

◆ 新生児学入門、第5版、医学書院 141ページから、286ページから

準備：

教科書で予習（2時間）しておくこと。

小児総6：周産期・新生児の異常（2）

日時：9月2日（水） 2時限

担当者：國方 徹也(小児科)

内容：

新生児期によく見られる疾患の病態と対応

1. 低血糖、低カルシウム血症
2. 新生児黄疸
3. 新生児痙攣
4. 多血症・貧血
5. B型肝炎ウイルス母子感染予防

キーワード：

血糖、低カルシウム血症、新生児黄疸、多血症・貧血、B型肝炎ウイルス

教科書：

- ◆ 新生児学入門（第5版）、仁志田博司、医学書院、

参考書：

- ◆ 新生児学テキスト 日本新生児成育医学会編

準備：

出生時の循環・呼吸の適応が説明できる。（30分）

小児総7：小児の呼吸器疾患、アレルギー疾患

日時：9月2日（水） 3時限

担当者：板澤 寿子(小児科)

内容：

1. 喘鳴性疾患について鑑別疾患を列举できる。
2. 気管支喘息について病態生理、診断と治療を説明できる
3. 小児における感染性呼吸器疾患について原因、症状、診断、予防、治療について説明できる。
4. 食物アレルギーの種類、原因、症状、診断、治療について説明できる。
5. アナフィラキシーの原因、症状、診断、治療について説明できる。

キーワード：

クroup症候群、気管支喘息、急性細気管支炎、RSウイルス、食物アレルギー、アナフィラキシー
D-6-3)-(1) 喘鳴 学修目標：①喘鳴の発生機序と原因疾患を説明できる。 D-6-4)-(2) 呼吸器感染症
学修目標：①急性上気道感染症（かぜ症候群）と扁桃炎の病因、診断と治療を説明できる。 ②気管支
炎・細気管支炎・肺炎（定型肺炎、非定型肺炎）の主な病原体を列举し、症候、診断と治療を説明できる。
⑥クroup症候群と急性喉頭蓋炎の病因、診断と治療を説明できる。 D-6-4)-(3) 閉塞性換気障害・拘
束性換気障害をきたす肺疾患 学修目標：③気管支喘息（小児喘息を含む）の病態生理、診断と治療を
説明できる。
E-4-3)-(6) アレルギー性疾患 学修目標：①主要な全身性アレルギー性疾患の分類と特徴を概説でき
る。 ②アナフィラキシーの症候、診断と治療を説明できる。 ③食物アレルギーの種類、診断と治療を
概説できる。

教科書：

- ◆ 小児科学（文光堂）第11版 第29章 アレルギー疾患，第35章 呼吸器疾患

予習：

喘鳴の鑑別診断、食物アレルギーの種類、アナフィラキシーの症状と対応を確認する。（30分）

復習：

講義内容を再確認する。(30分)

小児総8：小児の神経疾患：脳性麻痺、変性疾患

日時：9月3日（木） 2時限

担当者：松本 浩(小児科)

内容：

1. 脳性麻痺の主な病型を列挙・説明できる
2. ミトコンドリア病について、主要な病型を列挙・説明できる
3. 副腎白質ジストロフィーの症状、病態、治療法について説明できる
4. 小児中枢神経脱髄性疾患について説明できる
5. 脊髄性筋萎縮症の症状、病態、治療法について説明できる

キーワード：

脳性麻痺 cerebral palsy、ミトコンドリア病 mitochondrial disorders、ミトコンドリア脳筋症・乳酸アシドーシス・脳卒中様発作症候群 MELAS, 副腎白質ジストロフィー adrenoleukodystrophy, 急性散在性脳脊髄炎 ADEM, 脊髄性筋萎縮症 spinal muscular atrophy

教科書：

- ◆ 小児科学（文光堂） 第10版

備考：

国試出題基準：医学総論 IV 生殖、発生、成長、発達、加齢 医学各論 I 先天異常、周産期の異常、成長・発達の異常 医学各論 IX 神経・運動器疾患

準備：

予習：キーワードに挙げた各疾患について、教科書を読んで理解しておく（20分）

小児総9：小児の消化管疾患

日時：9月3日（木） 3時限

担当者：盛田 英司(小児科)

内容：

1. 小児の嘔吐を認める疾患の病態と鑑別すべき疾患を説明できる。
2. 小児の下血を認める疾患を概説できる。
3. 小児の急性胃腸炎の病因と特徴を説明できる。
4. 小児の便秘の原因を列挙できる。

キーワード：

胃食道逆流症、乳児肥厚性幽門狭窄症、急性胃腸炎、ロタウイルス、病原性大腸菌、腸重積症、Hirschsprung病、便秘症、イレウス

教科書：

- ◆ 小児科学（文光堂）第10版：726-776頁

予習：

消化器官の解剖学的、生理的発達について理解しておく。(30分)

復習：

講義内容を再確認する。(30分)

小児総10：けいれん、脳症、脳炎

日時：9月4日（金） 2時限

担当者：松本 浩(小児科)

内容：

小児のけいれん、脳症、脳炎を理解する

1. けいれん発作 F-1-8)
 - 1) 熱性けいれん G-2-8)
 - 2) 代謝疾患に伴うけいれん
 - 3) 憤怒けいれん
2. てんかん D-2-4)-(7)
 - 1) てんかんの定義と頻度
 - 2) てんかん・てんかん発作の分類
 - 3) 良性ローランドてんかん
 - 4) 欠神発作・小児欠神てんかん
 - 5) West 症候群
 - 6) Lennox-Gastaut 症候群
 - 7) 代表的な抗てんかん薬
3. 脳炎 D-2-4)-(3)
 - 1) 急性脳炎
 - 2) 亜急性硬化性全脳炎
4. 髄膜炎 D-2-4)-(3)
 - 1) 細菌性髄膜炎
5. 脳症 D-2-4)-(3)
 - 1) Reye 症候群

キーワード：

熱性けいれん、良性ローランドてんかん、欠神発作、West 症候群、抗てんかん薬、単純ヘルペス脳炎、亜急性硬化性全脳炎、細菌性髄膜炎、Reye 症候群

教科書：

- ◆ 小児科学（文光堂）p. 895-907

準備：

教科書で予習（30 分間）し、復習は授業内容を確認し、疑問点を教科書で調べてみることに。

小児総 11：小児の血液・腫瘍・免疫不全

日時：9月4日（金） 3 時限

担当者：中尾 朋平(国セ 小児腫瘍科)

内容：

1. 小児期に診られる腫瘍性疾患、血液疾患について
2. 小児期の代表的腫瘍性疾患及び造血障害を例示できる
3. 小児期の代表的悪性腫瘍及び造血障害の診断プロセスを説明できる

キーワード：

白血病、脳腫瘍、神経芽腫、横紋筋肉腫、ユーイング肉腫、遺伝子異常、長期生存、晩期障害

教科書：

- ◆ 小児科学（文光堂）
- ◆ NEW 小児科学（南江堂）

準備：

3 年生で行った血液ユニットのハンドアウトを復習して下さい。（30 分）

小児総 12 : 小児の内分泌疾患

日時 : 9月7日(月) 1時限

担当者 : 菊池 透(小児科)

内容 :

1. 成長障害の診断と治療
2. 先天性内分泌疾患の診断と治療
3. 小児糖尿病の診断と治療

キーワード :

性分化、性早熟症、成長ホルモン分泌不全性低身長

1型糖尿病、2型糖尿病、先天性甲状腺機能低下症、先天性副腎過形成

教科書 :

- ◆ 標準小児科学 第8版(医学書院)

参考書 :

- ◆ 小児科学(文光堂)

備考 :

内分泌疾患の中で、小児に特徴的な疾患の講義をします。

準備 :

以下のついて復習しておくこと。

小児の成長の概要

性分化のメカニズム

成長障害を来す疾患

先天性甲状腺機能低下症

先天性副腎過形成症

1型糖尿病、2型糖尿病、肥満症

演習問題(30分)

小児総 13 : 小児栄養

日時 : 9月7日(月) 2時限

担当者 : 菊池 透(小児科)

内容 :

1. 乳児期の栄養
2. ビタミンと必須微量栄養素の欠乏
3. 母乳栄養と人工栄養(調製粉乳・特殊調製粉乳)
4. 牛乳蛋白アレルギー

キーワード :

乳児ビタミンK欠乏性出血症、ビタミンD欠乏性くる病、鉄欠乏性貧血、調製粉乳、乳糖除去ミルク、微量元素、亜鉛欠乏症

教科書 :

- ◆ 小児科学(文光堂)

準備 :

乳児の身体的発育指標、母乳と市販牛乳の成分の相違、栄養障害について調べておく(30分)

小児総 14 : 成長と発達

日時 : 9月7日(月) 3時限

担当者 : 菊池 透(小児科)

内容：

1. 成長と発達の評価
2. 反射の種類と出現、消失時期
3. 臓器の発育

キーワード：

成長と発達パターン・肥満度、二次性徴・小児期正常値

教科書：

- ◆ 小児科学（文光堂）

準備：

成長・発達のパターン：年齢層別の生理的変化・思春期における変化
肥満の評価：小児気における特徴・小児期メタボリックシンドロームと生活習慣病
小児期における検査値の評価：基準値の年齢層による違いと・成人との違い
神経反射と発達
演習問題（30分）

小児総 15：小児の先天性心疾患

日時：9月9日（水） 1時限

担当者：小島 拓朗(国セ 小児心臓科)

内容：

- ・代表的な先天性心疾患の診断および治療のポイント ・川崎病の診断および治療のポイント。

 1. 心室中隔欠損症
 2. ファロー四徴症
 3. 完全大血管転位
 4. 川崎病

キーワード：

心室中隔欠損症、ファロー四徴症、完全大血管転位、川崎病

教科書：

- ◆ 小児科学（文光堂）

参考書：

- ◆ Nelson Textbook of Pediatrics

準備：

教科書で当該箇所を通読しておくこと(20分)。

小児総 16：小児の腎疾患と膠原病

日時：9月9日（水） 2時限

担当者：秋岡 祐子(小児科)

内容：

★E-7-3) 幼児検尿・学校検尿の目的・方法・結果の解釈・事後措置について説明できる

1. 幼児検尿・学校検尿の意義を述べることができる
2. 学校検尿の暫定診断とその後の措置について述べるができる
3. 幼児検尿の暫定診断とその後の措置について述べるができる

小児腎疾患の特徴について説明できる

1. ★D-8-4)-(2) 小児期に発症する慢性糸球体腎炎とネフローゼ症候群の特徴について述べるができる
2. ★D-8-4)-(7) 先天性腎尿路異常の臨床像について述べるができる
3. ★E-7-4) 小児期から成人期医療の移行の問題点について述べるができる

★E-4-3) 小児期の血管炎とリウマチ性疾患について理解できる

1. 血管炎とリウマチ性疾患を疑う症状・症候について述べることができる
2. 血管炎とリウマチ性疾患の診断と治療について述べるができる
3. ★E-4-3)-(5)川崎病とその合併症について述べるができる

キーワード：

学校検尿、幼児検尿、学校管理区分表、急性糸球体腎炎、慢性糸球体腎炎、IgA 腎症、リウマチ熱、全身型若年性特発性関節炎、川崎病、IgA 血管炎

教科書：

- ◆ 標準小児科学第9版（医学書院）317-332, 523-558, 568-574

準備：

予習 日本川崎病学会 HP で臨床症候を閲覧（15分） 尿所見のよみかた 学校保健制度 復習 標準小児科学第9版の該当ページの通読

小児総17：小児の感染症

日時：9月9日（水） 3時限

担当者：石井 佐織(小児科)

内容：

- 1、小児の感染症
 1. 小児の細菌感染症の種類とその特徴と治療
 - ◆ 細菌性髄膜炎
 - ◆ 結核
 2. 小児のウイルス感染症の種類とその特徴と治療
 - ◆ 麻疹
 - ◆ 水痘
 - ◆ 溶連菌
 3. その他の感染症
 - ◆ マイコプラズマ
- 2、予防接種
 1. 予防接種の種類と特徴
 - ◆ 生ワクチンと不活化ワクチン
 - ◆ 定期接種と任意接種
 2. 予防接種スケジュール
 - ◆ 接種間隔の変更
 - 3、小児感染症に関連した公衆衛生

キーワード：

細菌感染症、ウイルス感染症、予防接種、細菌性髄膜炎、小児の発熱

教科書：

- ◆ 小児科学（文光堂）

参考書：

- ◆ 病気がみえる 小児科

備考：

小児感染症と予防接種について国家試験の過去問を呈示しながら解説していく。◆は特に国試で出題されるポイントである。

準備：

小児感染症の鑑別と予防接種のルールについて習得できているか確認してほしい。